

# 週報 南相馬ロータリークラブ

第 18 回 通算 512 回

2018 年 11 月 14 日 (水) 12:20～13:30



## 495th Program

司会 SAA 青木謙二 会員  
大谷和年 会長

### 「新会員オリエンテーション」

研修委員会委員長 小澤積会員



### 「会長の時間」

会長 大谷 和年

開会点鐘／国歌斉唱「君が代」／ロータリーソング「我等の生業」／「四つのテスト」唱和／お客様並びに来訪ロータリアン紹介／会長の時間／昼食／会員卓話／幹事報告／各委員会報告／出席報告／スマイルBOX報告／閉会点鐘



11 月 3 日バザーの取り組みご苦労様でした。連続 5 回となり、お客様にはロータリーのバザーを目当てに来る方もおられるようです。非常に安いのが知られてきているのかなと思います。今回は品数が若干少ないように感じられましたので、昨年よりは収益が少し少ないかもしれませんが、しかし皆さんの熱意で完売の成果を上げることが出来ました。また今回は、ポリオ撲滅募金と我クラブの活動パネルの展示をいたしました。お客様の中には見ていかれる方もいて、ポリオ撲滅 PR と南相馬ロータリークラブのイメージ向上にわずかながら貢献したのかなと思います。ロータリーデーとして報告します。

11 月 4 日は第 1 回ふくしま植樹祭と第 6 回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭に参加しました。7 名でしたが、別の団体で参加しておられた

会員もおられました。広葉樹とクロマツの植樹を 2 か所で行い 2 時間ほどの充実した時間でした。

天候が良く汗ばんで作業をしました。2530 地区では 30 万円の寄付をしたとの報道がありました。地区としての姿は見えませんでした。ロータリーのジャンパーを着ていきましたので、それを見て、いわき勿来ロータリークラブと福島中央ロータリークラブの方が挨拶に来られました。それぞれ自クラブのジャンパーを着られておりました。大勢の中で作業するときはロータリーのジャンパーは目印になり大変有効だなと改めて感じました。あと 10 年後、20 年後植えた木の成長が楽しみです。様子は会報で見て頂きたいと思いません。

## 「新会員オリエンテーション」



国際ロータリーの誕生 20世紀初頭、のアメリカ社会の経済は著しい発展を遂げると同時に、商業道徳の欠如や倫理に反

する商取引が目立ち始めた。シカゴ在住の青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に嘆き悲しみ、1905年、友人3人と語り、お互いに信頼のできる公正な取引をして、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨で初めて自発的会合を開いたのが、ロータリークラブの始まりです。さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくるのが、ポール・ハリスの夢でした。以来110年以上にわたり、ロータリーの会員は世界が抱える数々の問題に取り組んできました。今やロータリークラブは、世界のほぼすべての国や地域で120万人の会員ネットワークを生かして世界レベルの取り組みを行っています。「仲間のあいだで友情を深めたい」というハリスの願いの下に集まったこれら4人の会合は、今日、親睦と奉仕を中心とした国際的組織へと発展します。ロータリーの鼓動と呼ばれる社会奉仕は、1907年に実施されたイリノイ州シカゴの市役所に公衆便所を設置するキャンペーンを始めたときが、社会奉仕の概念を導入することになります。その頃、ロータリーの目的は「親睦」と「事業上の利益の増大」でしたが、社会奉仕の導入により、「親睦」と「奉仕」へと転換された。職業倫理の高揚を学び一人一人の職業を通じて社会に如何に奉仕するかと言う職業奉仕を重点 | Serve (私は奉仕する) を理念とした。ロータリーは全員がまとまって行う奉仕活動も沢山あるが、基本的には「会員一人一人が奉仕活動の単位」となる。すなわち「私は奉仕する (I Serve)」 「自己の責任において、自分の職業を通じて、社会に、世界に奉仕しよう」という考え方が基本となり今日に至っております。日本のロータリー誕生 福島喜三次 日本人最初のロータリアン 日本にロータリー運動をもたら

## 研修委員会委員長 小澤積会員

すきっかけを作った人、三井物産に入社して、1905年に渡米し、1912年頃、ダラスの三井物産現地法人の支配人として、1915年頃、ダラスロータリークラブの会員として入会する。日本ロータリーの父 米山梅吉 1881年に渡米してアメリカの大学を卒業。帰国後、三井銀行に入社。三井信託銀行の社長に就任する。1918年の正月をダラスの福島喜三次宅で過ごすことになり、ロータリーに関する話を聞いて、関心を寄せ、アメリカのロータリークラブを訪れた可能性もあったと言われております。1920年9月1日に設立準備会が開かれ、同年10月20日、チャーターメンバー24名が集まって、銀行クラブで設立総会が開催され、東京ロータリークラブが誕生する。初代会長：米山梅吉 幹事：福島喜三次 設立当初の東京クラブは会員の殆どが財界の大御所で閉められ、大企業の社長や重役といった顔ぶれが並んでいる。戦前の日本のロータリーは功成り名を遂げた財界人が入るクラブという錯覚を生み出し、クラブ会員が当然自ら果たすべきクラブ奉仕活動を事務局員に任せるという悪い習慣をつくってしまった。月一回の例会で出席率も悪く、また規約に関する関心も薄かったと言われております。福島喜三次は僅か2回の例会に出席しただけで、1921年3月に大阪へ転勤になります。それを機会に、関西財界人の間にロータリーに対する関心が高まり、英米訪問実業団の一員として渡米した星野行則がシカゴへ行き、当時のRI事務総長チェスレー・ペリーと会談して、大阪クラブ設立の意向を伝えました。星野行則は福島喜三次と協力して、1922年11月17日チャーターメンバー25名によって大阪クラブの創立総会が行われました。初代会長：星野行則 幹事：福島喜三次 が選出され、加盟承認される。1923年9月1日、午前11時58分、突如として怒った関東大震災によって死者9万人、負傷者10万人、焼失68万戸、全壊1万1千戸の大災害となる。首都圏は壊滅的で東京の三分の二と横浜の殆ど全域が崩壊した未曾有の大災害 RI 会長より「RI および全ロータリークラブは深い同情の意を表す。如何なることであろうと、遠慮なく申しつけられたし」との電報が届きます。その後世界中のロータリークラブから続々と義捐金が送られてきました。合計16カ国、503クラブ から義捐金が寄せられた。東京クラブは、特別委

員会を設けて、慎重に用途を検討して、復旧・復興の活動資金に充てた。・木下産院の建設・小学校の備品整備・ロータリーホームの建設（東京市の希望で孤児院）・殉職警察官の遺族に対する救助活動・関東大震災による他国からの支援を受ける。なお、この震災によって全ての事務用品、書類、認証上、ロータリー旗を失った東京クラブに対して、シカゴ本部より一切の備品が送られております。東京クラブは、このロータリーの友情を契機にして、今までの月一回の例会を毎週開催するよう改めたとされています。これが今日の週一の例会につながっているものと思われます。ロータリーには、創設時から現在まで変わらない、3つの特徴があります。1つ目の特徴、ロータリーの「国際性」創設後わずか16年の間に、ロータリークラブは6大陸へと広がり日本では1920年（大正9年）に初のロータリークラブが設立され、ロータリーはグローバルに活動しています。2つ目の特徴、「粘り強さ」第二次世界大戦中、ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、日本のロータリークラブは、ロータリーからの脱退を余儀なくされました。しかし、これらの国々のロータリアンは、リスクを承知で非公式にミーティングを続け、戦後、ロータリーに復帰したこれらのクラブは、ロータリーのみならず、国の再建においても大きな役割を果たしました。3つ目の



特徴「奉仕へのコミットメント」です。1979年、ロータリーは、フィリピンで600万人の子どもたちにポリオの予防接種を行うプロジェクトを開始し、これが世界的なポリオ撲滅活動のきっかけとなりました。野生ポリオウィルスが存在する国（ポリオ常在国）の数は、1988年の125カ国から、2012年には3カ国にまで減少しました。これはまさに、ロータリーによる奉仕へのコミットメントを裏付けるものです。日本のロータリーの歴史については、戦災の影響で、現在残っている資料は極めて少ないのが実情とされており、1971年に発行された「日本ロータリー50年史」を作成する際に原始資料として使用したと思われる「日本ロータリー史」「日本ロータリー年表」という古い文献と東京ロータリークラブの古い資料を参考に書き上げた資料をもとにしています。

## 「Lunch time 1分間スピーチ」

森 昭文 会員



私は人前でお話するのが、大嫌いで子供の頃は、学習発表会という逃げた。孫の話だったら、出来るかなあと話しします。幼稚園生と小学5,6年に孫がいて、幼稚園の孫に、「おじいちゃん、お疲れ様」と言われると疲れが吹き飛びます。小学6年の孫は、韓国K-POPにハマってまして、焼肉屋に行くと韓国語を読んだりします。私の孫の代になる頃、韓国と仲良くできるのかなあとと思います。

小学5年の孫に算数を教えたりしています。今は、小学校で英語の授業があり、英語はどんなの？と聞かれました。英語をやる事は、すごく良い事だけど、もっと本を読んで日本の歴史を学んだほうが大事ではないかと思えます。英語が全く話できないまま、仕事でイギリスに行きました。さいわい、設計だったので、図面をひろげればなんとなくになりましたが、苦勞しました。3ヶ月もたつと英語が、かなりわかるようになり、いろんな事を話せるようになりました。イギリスや中国には長い歴史があります。海外で、自分は日本のことをよく知らないんだと思われられました。

## 「幹事報告」

●ハイライトよねやま VOL.223が届いています。●原町中央 RC より11月のプログラムが届いています。●南相馬市国際交流協会より情報誌あい48号とクリスマスコンサートのご案内が届いています。●南相馬市長より第12回南相馬市発明工夫展後援への御礼状が届いています。●遠藤会員より本社移転のお知らせが届いています。●11月15日 原町 RC55 周年9名参加します。

## 「各委員会報告」

●社会奉仕委員長代理岡田幹事より10月の資源源ゴミ回収報告がありました。●会計代理大谷会長より10月の会計報告がありました。

資源ごみ回収報告 (10月) ¥6,547. 資源ごみ回収団体報奨金 ¥6,550.

## <<<今週のご寄付 2018年11月14日>>>

■ ロータリー財団 計 ¥11,000. 累計 ¥113,000.

■ 米山奨学会 計 ¥7,000. 累計 ¥96,000.

■ スマイルBOX 報告 計 ¥18,000. 累計 ¥223,500.

青木謙二	1,000	小澤会員卓話ありがとう御座意ます。
青田真	1,000	
大内光一	1,000	
岡田義則	1,000	
小澤積	1,000	ご苦労様です
野口美佐子	1,000	小澤研修委員長ご苦労様でした。
三浦宏美	1,000	
宮城住夫	1,000	
森昭文	1,000	
門馬純子	1,000	小澤さん「新会員オリエンテーション」卓話ありがとうございました。
山田実	1,000	
10/24 夜間例会出席者	1,000	遠藤会員と星会員 事務所・お店開設を祝して

(円)

出席報告 : 会員数29名 出席数16名 出席率55%

## 南相馬ロータリークラブ Since. 2007

会長：大谷 和年 / 幹事：岡田義則

例会日：毎水曜日 12:30~13:30

例会場：ウエディングパーク 原町フローラ 南相馬市原町区高見町2丁目30-6

事務局：南相馬市原町区錦町2丁目68-6

TEL 0244-23-1268 FAX 0244-26-5935

HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail [minamisomarc@white.plala.or.jp](mailto:minamisomarc@white.plala.or.jp)

